G

English

Français

Deutsch

Svenska

Italiano

Español

Nederlands

Português

Русский

中文

한국어

日本語

YAMAHA

Earphones
Casques Intra-auriculaires
イヤホン

EPH-W32
EPH-W22

OWNER'S MANUAL
MODE D'EMPLOI
BEDIENUNGSANLEITUNG
BRUKSANVISNING
MANUALE DI ISTRUZIONI
MANUAL DE INSTRUCCIONES
GEBRNUIKSAANWIJZIG
MANUAL DE INSTRUÇÕES
ИНСТРУКЦИЯ ПО ЭКСПЛУАТАЦИИ
使用说明书
사용 설명서
取扱説明書

Bluetooth®

apt X® CSR

BC

Refer to “Part names / how to use” on P. 1.

Voyez la section “Nom des éléments / utilisation des écouteurs” à la P. 1.

Siehe unter „Teilebezeichnungen/Bedienung“ auf S. 1.

Se “Namn på delarna/ hur man använder dem” på S 1.

Fare riferimento a “Nomi delle parti / utilizzo” a P. 1.

Consulte “Nombres de las piezas/uso” en la P. 1.

Raadpleeg “Onderdeelnamen/gebruik” op P. 1.

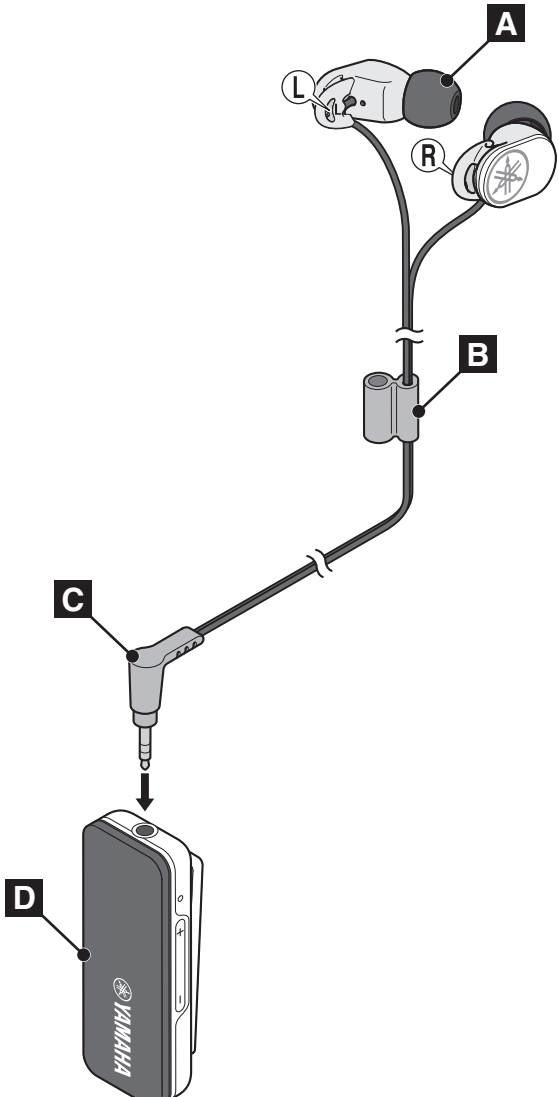
Consulte “Nomes das peças / como usar” na P. 1.

См. раздел «Название деталей и их использование» на стр. 1.

请参阅第 1 页上的“部件名称/如何使用”。

P.1의 “부품명/사용 방법”을 참조하십시오.

P.1「各部の名称 / 使いかた」を参照してください。


A
L
R
B
C
D
YAMAHA

ヤマハ製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



- 自動車や自転車を運転中に使用しないでください。また、事故に遭うおそれがありますので、踏切や工事現場など、周囲の音を聞く必要のある場所では使用しないでください。
- USB給電ケーブルを傷つけないでください。
  ●重いものを上に載せない。●ステープルで止めない。●加工をしない。
  ●熱器具には近づけない。 ●無理な力を加えない。
  芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しないでください。電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。
- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災·故障の原因になります。



- 心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm以上離してご使用ください。ペースメーカーに影響を与え重大事故につながるおそれがあります。
- 本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- 分解·改造は厳禁。
  火災や感電の原因になります。修理·調整は販売店にご依頼ください。

⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

◆ 聴覚の保護のために



- 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になる場合があります。長時間、大音量での使用は、難聴を引き起こす可能性があります。80dB(A)の音量で40時間/週、89dB(A)の音量で5時間/週を超えないようにしてください。



- 接続する機器の音量を最小にしてから、プラグを接続してください。

◆ **安全にご使用になるために**



- イヤホンがお肌に合わないときはすぐにご使用を中止してください。
- 小さな部品をお子様が飲み込まないよう、製品はお子様の手の届かない場所に保管してください。



- イヤピースを外したまま装着したり、壊れたイヤピースを使用したりしないでください。けがや病気の原因となることがあります。
- イヤピースはイヤホンにしっかり装着してください。イヤピースが外れて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。
- 時計、磁気カードなど磁気の影響を受けるものに近づけないでください。データを破壊する原因になります。
- USBプラグを抜くときは、USB給電ケーブルをひっぱらないでください。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には置かないでください。本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

ご使用上の注意

- ご使用の際は、接続する音声再生機器の取扱説明書もあわせて参照してください。
- 接続機器からプラグを抜くときは、ケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜いてください。ケーブルを強く引っ張ったり折り曲げたりすると、ケーブルが破損する恐れがあります。
- イヤホンを分解したり、故障したまま使用したりしないでください。
- 空気が乾燥した場所では耳にピリピリと痛みを感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので、イヤホンの故障ではありません。
- イヤピースが耳にきちんと装着されていないと、低音が聞こえにくいことがあります。 より良い音質で楽しんでいただくために、イヤピースのサイズを交換するなど、耳にぴったり装着するよう調整してください。
- お手入れの際は、柔らかい布などで乾拭きしてください。音質低下の原因になりますので、プラグを汚れたままにしないでください。
- 直射日光のあたる場所や高温の場所、ほこりや湿気の多い場所に置かないでください。
- *Bluetooth* レシーバーのクリップで指等を挟まないようご注意ください。

エチケット

イヤホンから音が漏れて周囲の迷惑になりますので、公共の場では大きな音で使用しないでください。

特長

・スマートフォンなどと*Bluetooth* 接続してワイヤレスで音楽が楽しめます。
・内蔵マイクにより、電話の待ち受けと通話ができます。

各部の名称 / 使いかた

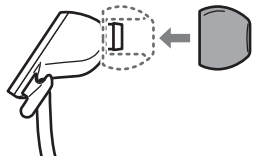
L のマークがついている方を左の耳に、**R** のマークがついている方を右の耳に装着してください。

巻頭 P.ii のイラストと一緒にご覧ください。

A イヤピース

イヤピースを交換する

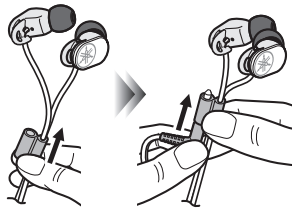
イヤホンにイヤピースを装着してご使用ください。イヤピースは4つのサイズ(L, M, S, XS)を付属しており、ご購入時にはSサイズが装着されています。ご自分に合うサイズをご使用ください。



B スマートケーブルホルダー

スマートケーブルホルダーを使用する

ご使用にならないときは、ケーブルの絡まり防止のため、スマートケーブルホルダーをイヤホン側にいっぱいまでスライドさせてください。さらに、プラグをスマートケーブルホルダーに差し込むと、ケーブル全体が絡まるのを防止できます。

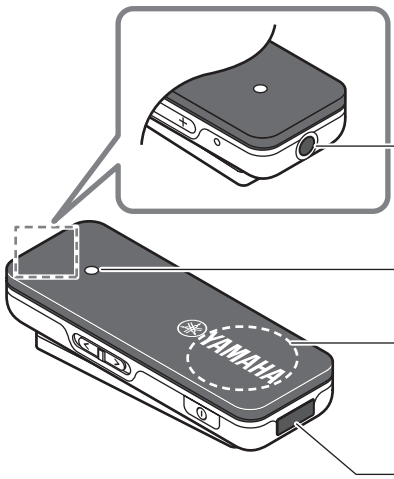


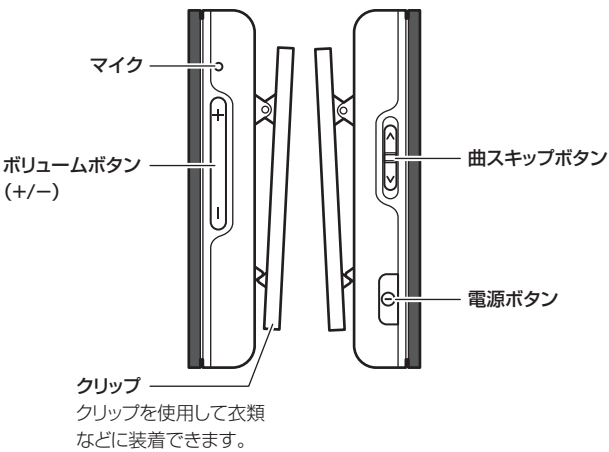
C L型プラグ

D *Bluetooth* レシーバー (☞ P.2)

Bluetooth レシーバーの使いかた

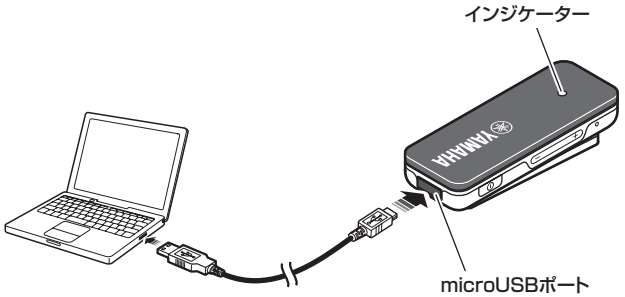
各部の名称





充電する

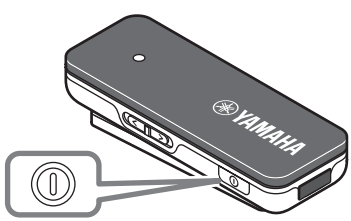
付属のUSB給電ケーブルを使用してPC等に接続する。



- 充電中はインジケーターが赤く点灯します。充電が完了すると、青く点灯します。
- 充電は約2時間で完了します。

電源を入れる/切る

電源ボタンを長押しする(約2秒間)。



イヤホンからメロディーが流れます。

電源状態を確認する

インジケーターが消灯しているなど、本機の電源が入っているかどうか不明な場合は、以下の方法で確認できます。

プレイボタン以外のボタンを短く1回押す。

インジケーターが1回または2回点滅すれば、電源は入っています。

Bluetooth 機器を登録する（ペアリング）

ペアリングとは、*Bluetooth* 機器を本機に登録する操作です。
初めて*Bluetooth* 接続を使用するときや、ペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行なう必要があります。

1. 本機の電源を切る。

2. 電源ボタンを長押しする（約4秒間）。

インジケーターが速く点滅し、ペアリング待ち受け状態になります。

3. *Bluetooth* 機器でペアリング操作をする（詳しくは*Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください）。

1. ***Bluetooth* 機器の*Bluetooth* 設定画面を表示する。**
2. ***Bluetooth* 設定がオフになっている場合はオンにする。**
3. **検索されたリストから「EPH-BR01 Yamaha」を選んでタップする。**

ペアリングが完了します。

- 本機は最大8台の*Bluetooth* 接続とペアリングできます。9台目のペアリングが成功すると、*Bluetooth* 接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。
- ペアリングが完了しないまま3分が経過すると、ペアリング待ち受け状態は終了します。
- パスキーの入力を要求されたら、数字で「0000」を入力してください。

Bluetooth 接続する

本機の電源を入れる。

最後に*Bluetooth* 接続した機器に自動的に*Bluetooth* 接続されます。

- 自動的に接続されない場合は、電源ボタンをもう一度短く1回押してください。
- *Bluetooth* 機器の*Bluetooth* 設定をオフにすると、本機の電源を入れてもその機器とは自動的に*Bluetooth* 接続されなくなります。

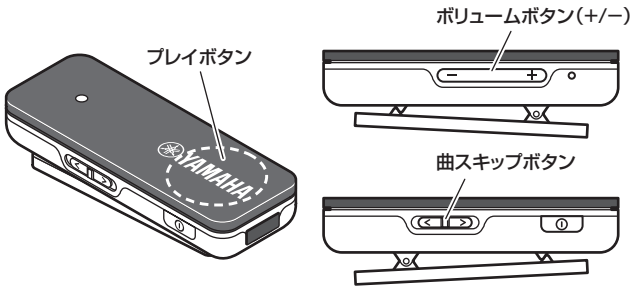
Bluetooth 接続を切断する

***Bluetooth* 接続中に以下のいずれかの操作をする。**

- 本機の電源を切る。
- *Bluetooth* 機器で*Bluetooth* 接続を切断する。

音楽を聴く

各ボタンを以下のとおり押す。



再生	プレイボタンを1回押す ※ 曲を選択して再生する場合は、*Bluetooth*機器で操作してください。
一時停止	曲の再生中にプレイボタンを1回押す
停止(対応機種のみ)	プレイボタンを長押しする(約2秒間)
次の曲へ	曲スキップボタンを[<]方向へスライドする
前の曲へ	曲スキップボタンを[>]方向へスライドする
音量を調節する	ボリュームボタン(+/−)を押す

電話を使う

各ボタンを以下のとおり押す。

電話を受ける	着信時にプレイボタンを1回押す
電話を切る	通話中にプレイボタンを1回押す
通話を拒否する	着信時にビープ音が鳴るまでプレイボタンを長押しする
音声を切り替える(イヤホン⇔*Bluetooth* 機器)	通話中にプレイボタンを素早く2回押す
音量を調節する	ボリュームボタン(+/−)を押す

音声コントロール / Siriを使う

プレイボタンを素早く2回押す。

音声コントロール / Siriが起動します。

Siriなどの音声コントロールに対応している機種でのみ有効です。

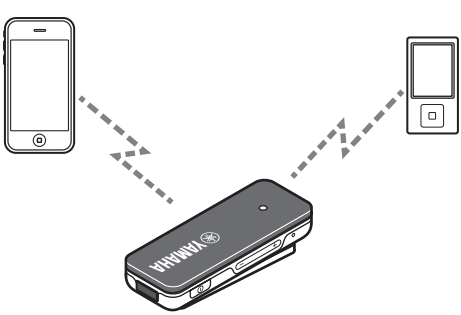
インジケーターの見かた

本機の状態に応じてインジケーターが点灯します。

本機の状態	インジケーター
電源を入れた時	2.5秒間点灯
電源を切った時	2.5秒間点灯
ペアリング待ち受け中	速く点滅
***Bluetooth* 接続なし(電源入)**	ゆっくり点滅
音楽再生中	2.5秒間隔で2回点滅
通話中	2.5秒間隔で1回点滅

複数の*Bluetooth* 機器を使う(マルチポイント接続)

同時に2台の*Bluetooth* 機器との*Bluetooth* 接続が可能です。



- 2台目の*Bluetooth* 接続は、*Bluetooth* 機器側から行なってください。
- *接続した2台の*Bluetooth* 機器の音声は、音楽の再生／停止によって切り替えることができます。

故障かな?と思ったら

下表以外の異常が認められた場合や下表の対処を行なっても改善しない場合は、お買上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」までお問合せください。

こんなときは	ここをお調べください
音が聞こえない/片側しか音が聞こえない	・プラグがイヤホンジャックの奥まで差し込まれているか確認してください。 ・本機と*Bluetooth* 機器との*Bluetooth* 接続を確認してください。 ・*Bluetooth* 機器の出力先が本機（EPH-BR01 Yamaha）になっていることを確認してください。 ・本機と*Bluetooth* 機器の音量が最小になっていないか確認してください。
***Bluetooth* 接続ができない**	・*Bluetooth* 機器の*Bluetooth* 機能がオンになっているか確認してください。 ・接続できない場合は、ペアリングをやり直してください。

仕様

Bluetooth バージョン ..... Version 4.0
対応プロファイル..... A2DP、AVRCP、HFP、HSP
登録可能機器数..... 最大8台（同時接続:2台）
対応コーデック ..... SBC、aptX®
最大通信距離 ..... 約10 m（Class 2）
内蔵充電池 ..... リチウムポリマー電池
充電時間 約2時間
連続待ち受け時間..... 約160時間
連続通話時間 約5時間*
連続音楽再生時間..... 約5時間*

* ご使用の環境によって異なります。

※ 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 2013 CSR plc and its group companies.
aptX® およびロゴマークはCSR社またはそのグループ会社の商標または各国の登録商標です。
※ Siriは米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。

Bluetooth について

- *Bluetooth* とは、無許可で使用可能な2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- *Bluetooth* は、*Bluetooth* SIGの登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- *Bluetooth* 対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。*Bluetooth* 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべての*Bluetooth* 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

対応コーデックについて

- 本機はaptX® コーデックに対応していますが、接続する機器によっては、ワンセグなどの音声が再生できない場合があります。その場合は接続機器のaptX設定をオフにして、接続し直してください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

本機の無線方式について



「2.4」.....2.4 GHz帯を使用する無線設備
「FH」.....変調方式は周波数ホッピング(FH-SS方式)
「1」.....想定干渉距離が10 m以内



.....全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

充電池について



本機にはリチウムイオン電池が使用されています。リチウムイオン電池はリサイクルできます。お客様自身で電池を取り外すことはできませんので、本機が不要になりましたら、巻末の「ヤマハAV 製品の修理、サービスパーツに関するお問合せ」に記載しておりますヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通） 0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409　〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
受付：月～金曜日 10:00～18:00　土曜日 10:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。ぜひご覧ください。
http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830
受付：月～金曜日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

FAXでのお問い合わせ
北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様(03) 5762-2125
九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 9:00～17:45（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

* 名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**
  製品に添付されている保証書をご覧ください。
- **保証期間中の修理**
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
  修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
  補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書別添付

PRINTED WITH SOY INK

© 2014 Yamaha Corporation

YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

Printed in China　ZP71290